



2018年11月20日
投資家の皆様へのご説明

ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

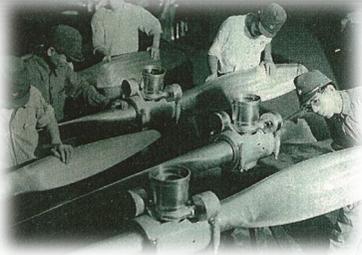
3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

ヤマハ発動機のおゆみ



1897年 **日本楽器製造** 誕生
(現在のヤマハ株式会社)



1955年 **二輪車部門**を分離・独立



ヤマハ 株式会社



ヤマハ発動機 株式会社



企業目的

感動創造企業

Kando Creating Company

ブランド・スローガン

Revs Your Heart

ヤマハらしさ

発 悦 信 魅 結

Innovation

Excitement

Confidence

Emotion

Ties

陸・海・空すべてのフィールドで 幅広い商品を展開

マリン事業



特機事業



その他事業



二輪車事業



グローバルな事業展開

グローバルに開発・生産、**180**を超える国と地域で販売

海外売上高比率 = およそ **90%**

海外生産比率 = **90%**以上



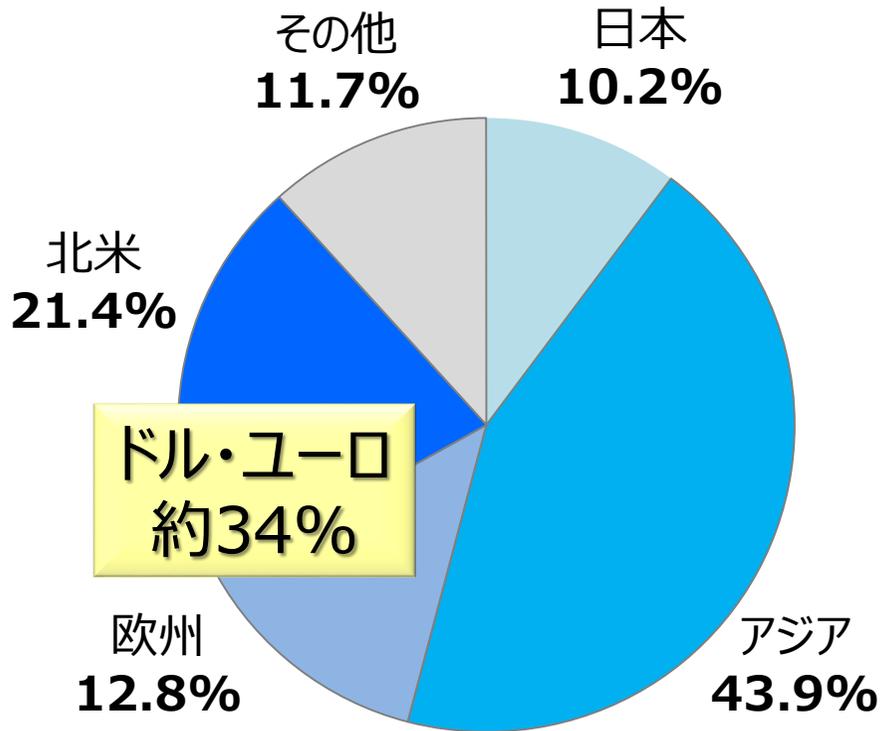
- 生産・開発・販売拠点
- 販売拠点ほか

外国人執行役員2名
グローバル社員86名

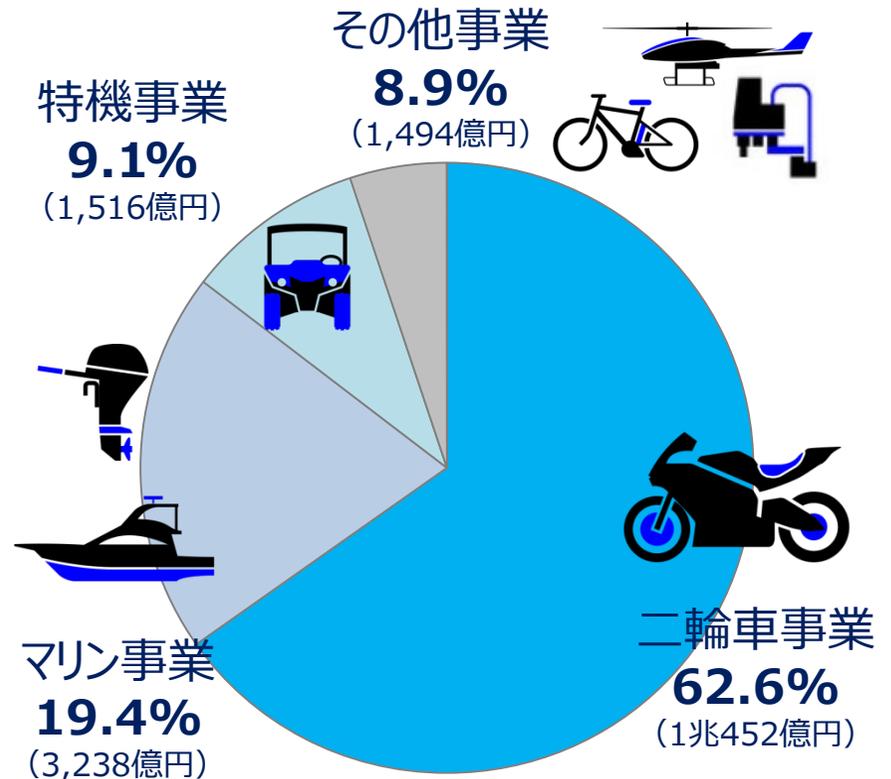
売上構成 (2017年12月期)

連結売上高 = 1兆6,701億円

地域別



事業別



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

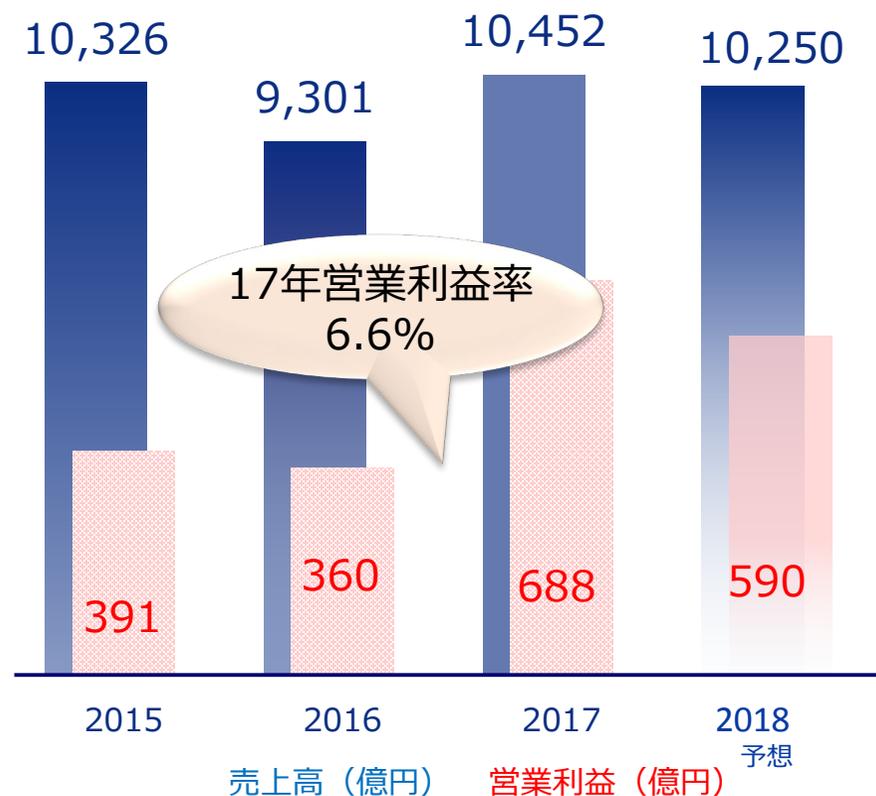
3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

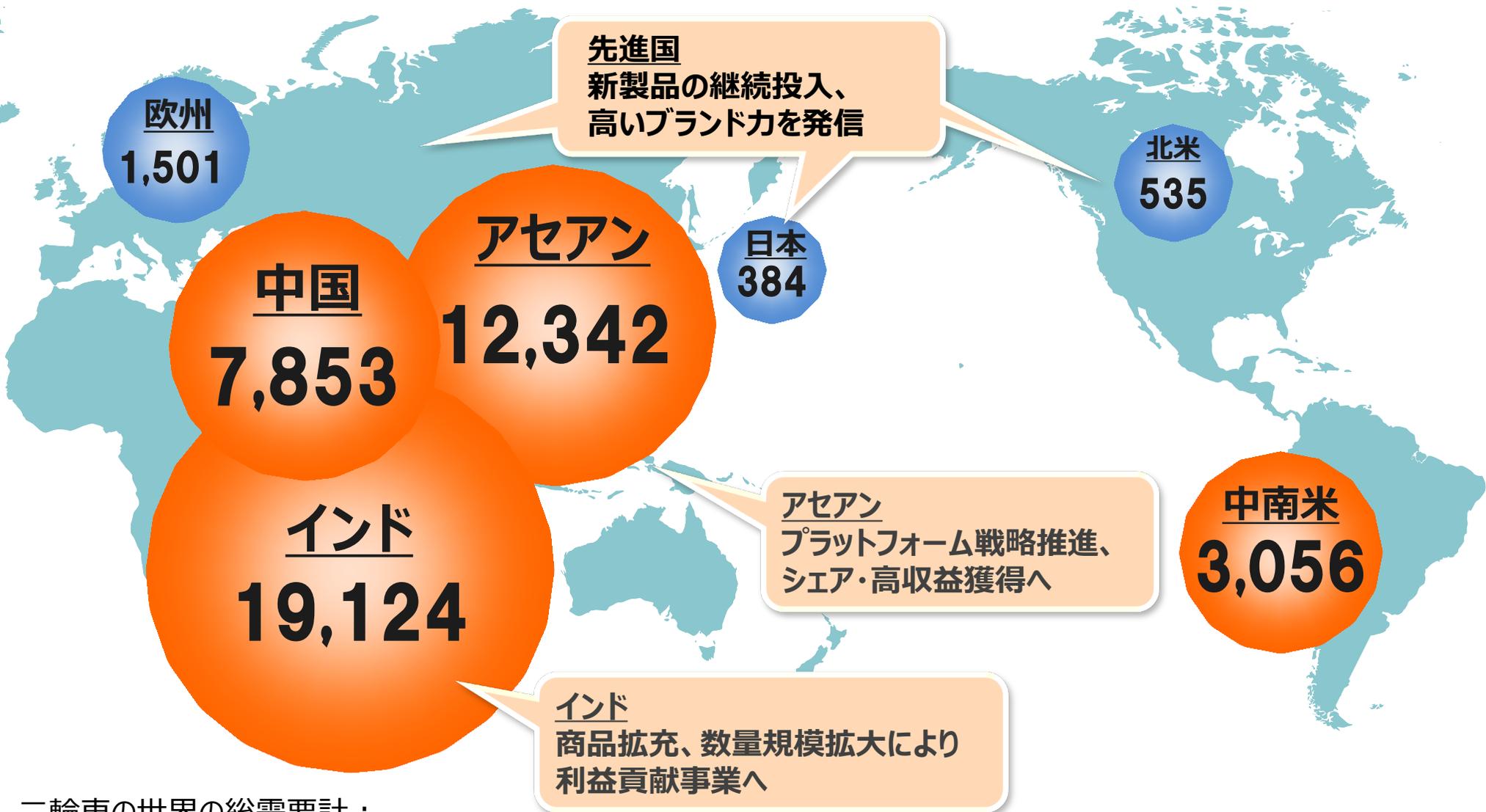
二輪車事業



会社創立から、基幹事業として展開 経営効率・商品競争力を高め、 安定した収益体質へ



二輪車事業 ～ 世界市場 ～



二輪車の世界の総需要計：
53,995千台

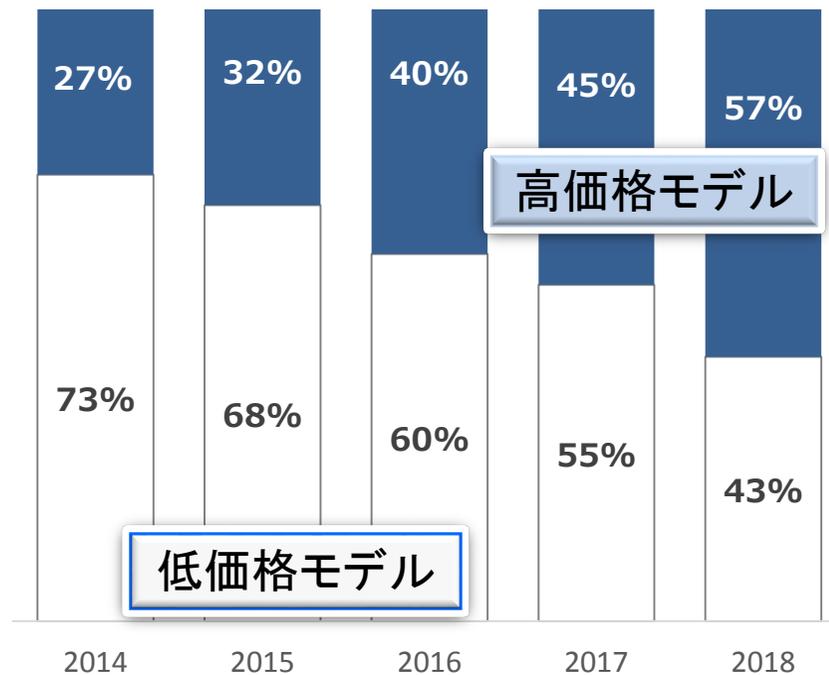
ASEAN 営業利益率大幅改善



①プラットフォーム開発によるコストダウン



②高価格モデルの販売比率増加

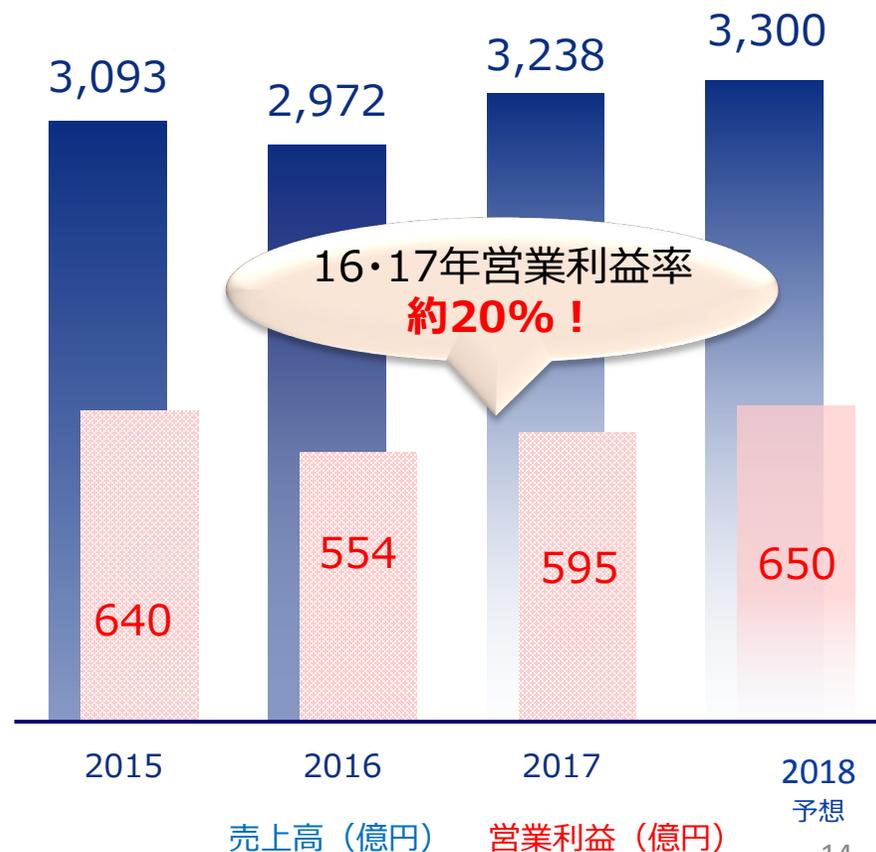
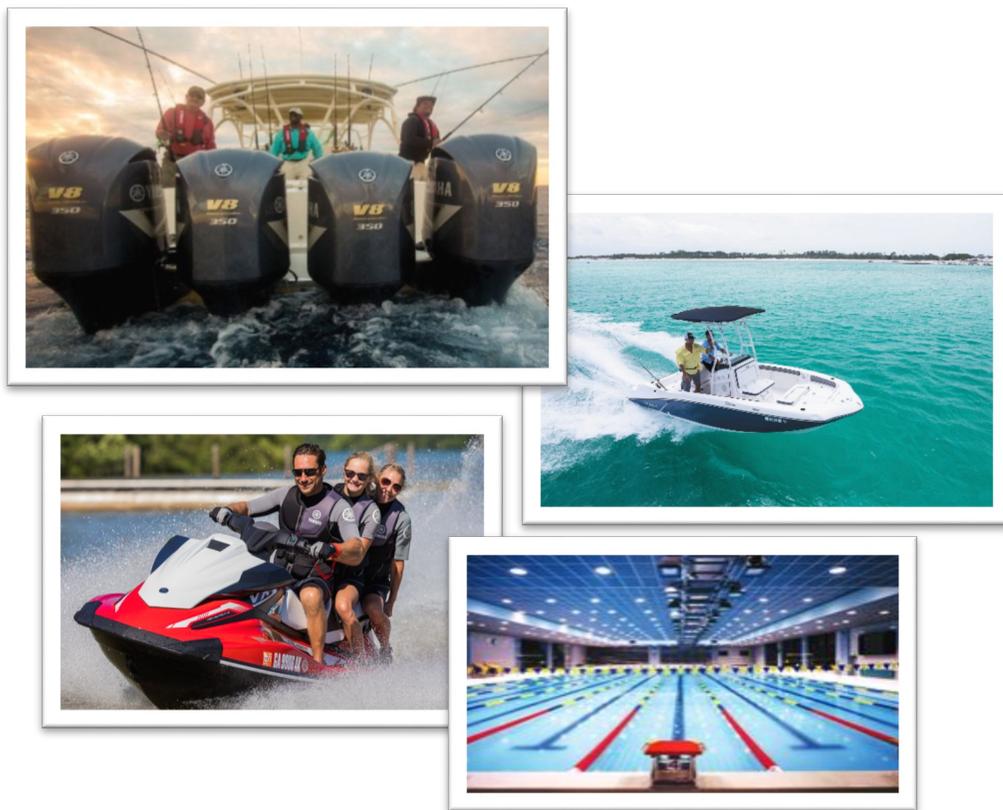


例) インドネシア 価格帯別販売台数推移

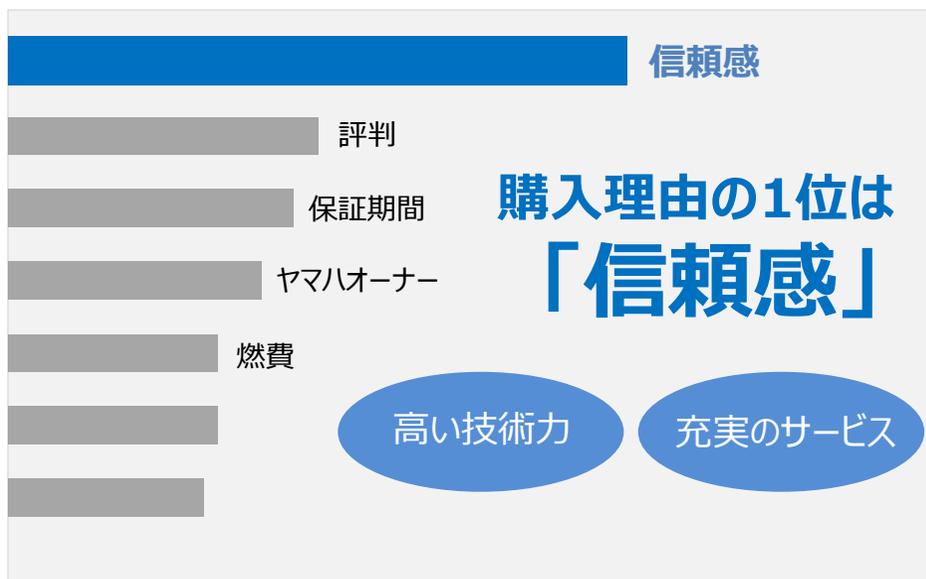
マリン事業



売上高3,000億円、営業利益率20%から さらに成長するビジネスモデルへ



高い信頼性を武器に大型に強み



市場トレンド+自社の強みを背景に
高収益を維持

営業利益率 約20%

特機事業

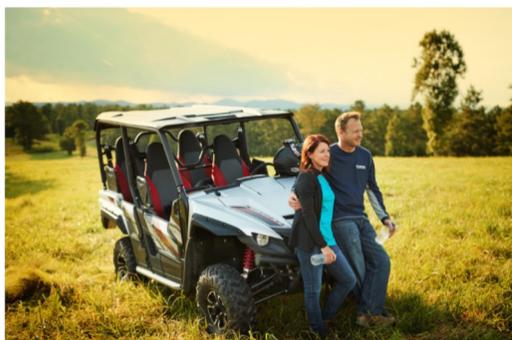


北米を中心に多様な商品を展開

(2017年実績 売上高1,516億円 営業利益△15億円)



ATV



ROV



ゴルフカー



スノーモビル



発電機



除雪機



その他事業

個性的なビジネスモデル群を展開

(2017年実績 売上高1,494億円 営業利益229億円)



電動アシスト自転車



表面実装機



CELL HANDLER
(表面実装機、メディカル領域への応用)



産業用無人ヘリコプター



電動車いす



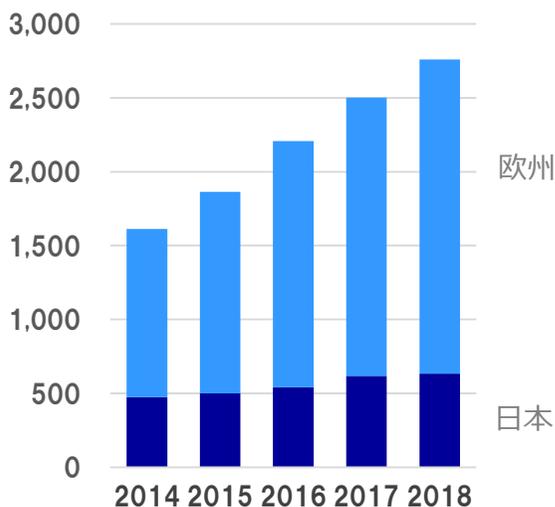
自動車用エンジン

その他事業

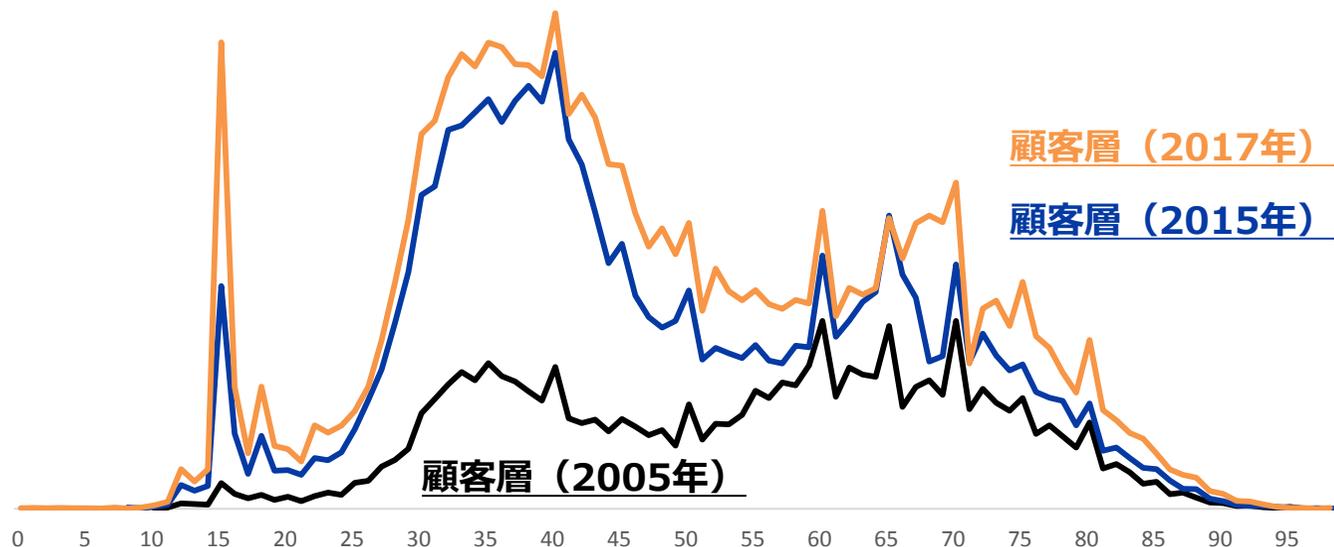
～ 電動アシスト自転車 ヤマハが市場を創出～



電動アシスト自転車 総需要
(日本・欧州市場：千台)



お客様の広がり
(国内登録数/年齢別)



通学モデル
PAS With



アシストロードバイクモデル
YPJ-R



ファミリーモデル
PAS Babby



足つき No.1モデル
PAS SION

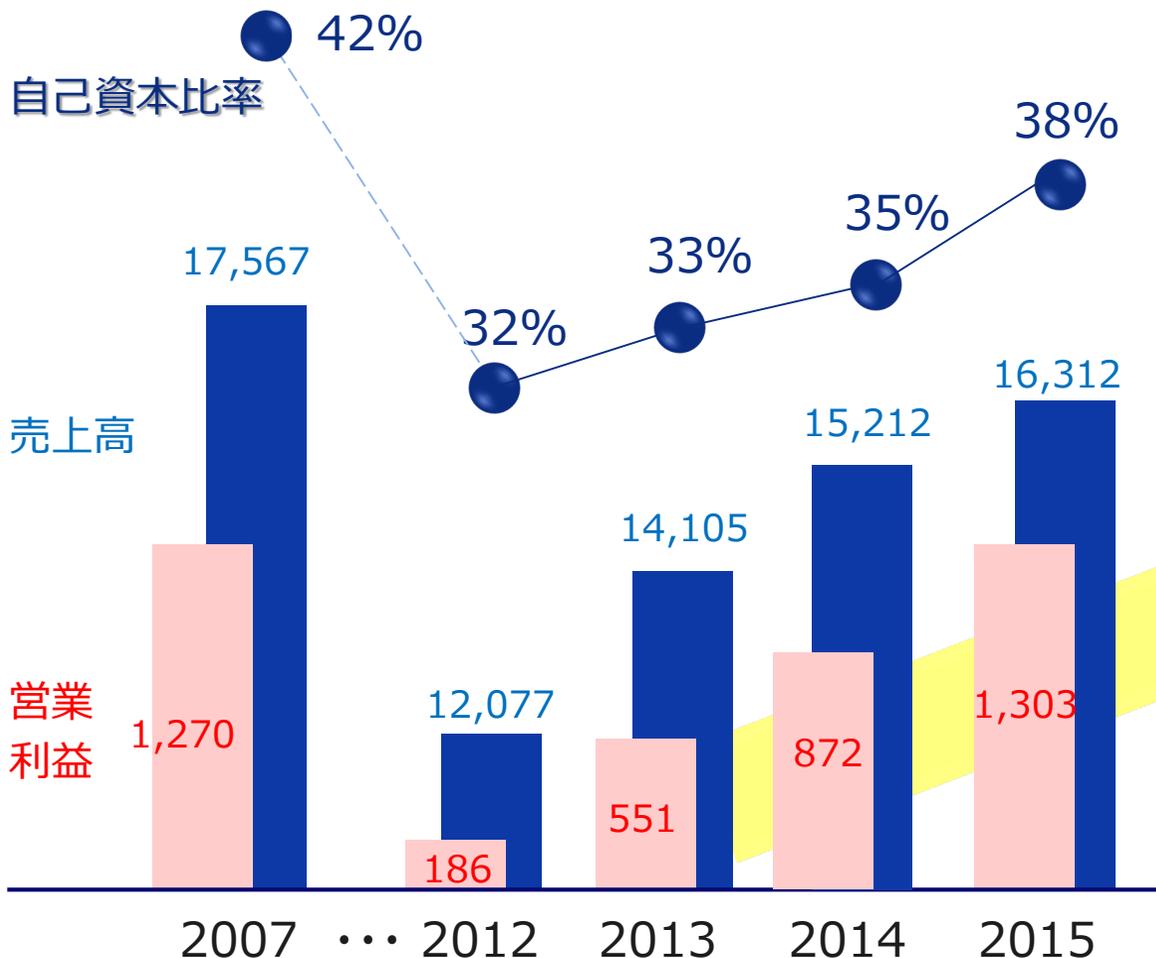
本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動



2013-2015
3期連続 増収・増益

**持続的成長の
基盤づくり**

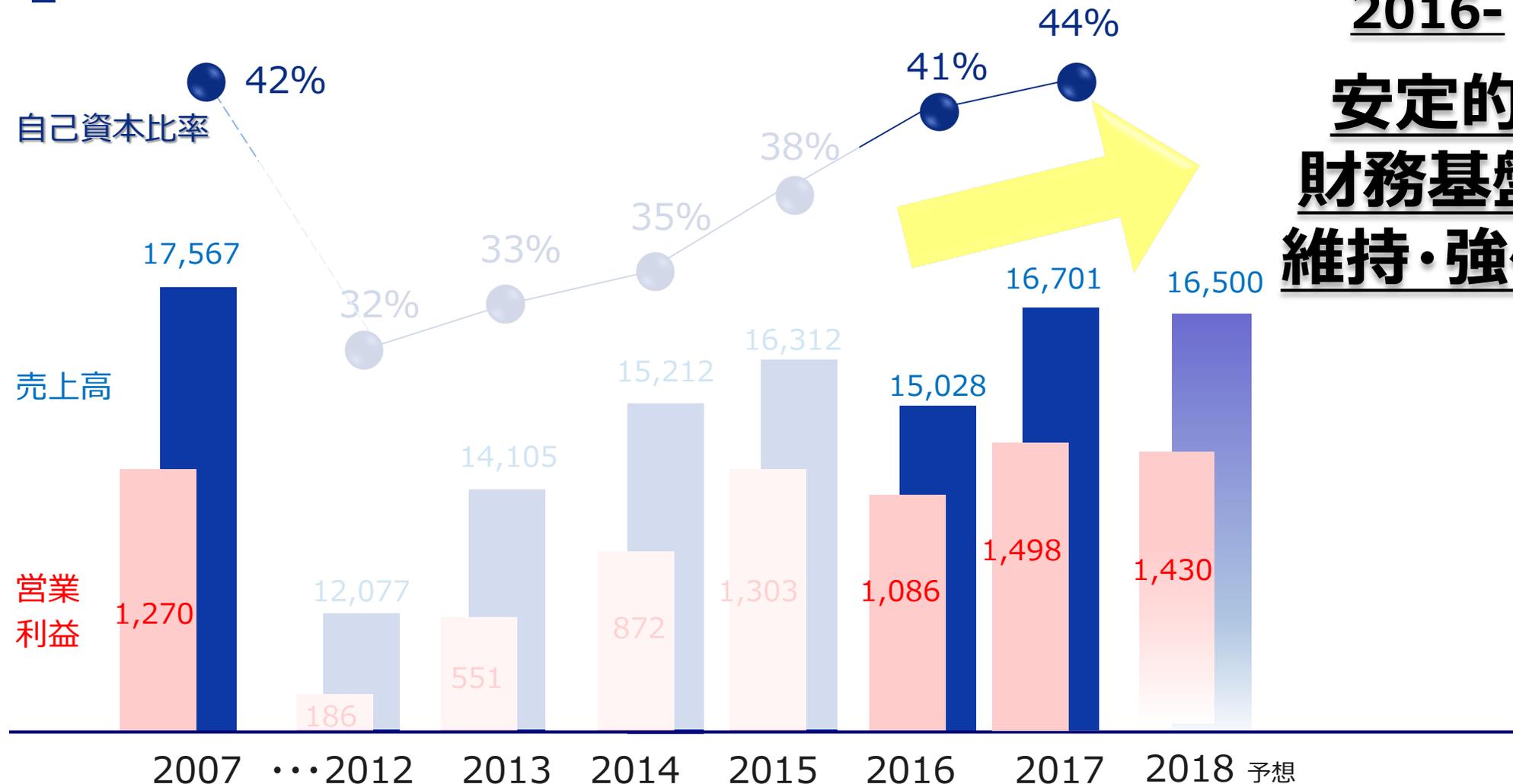
EPS 248.81 21.45 126.20 196.06 171.89 (円)

自己資本 5,302 3,079 3,840 4,597 4,908 (億円)

※表示されている2014年以前の数字は、販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。



2016-
安定的
財務基盤
維持・強化

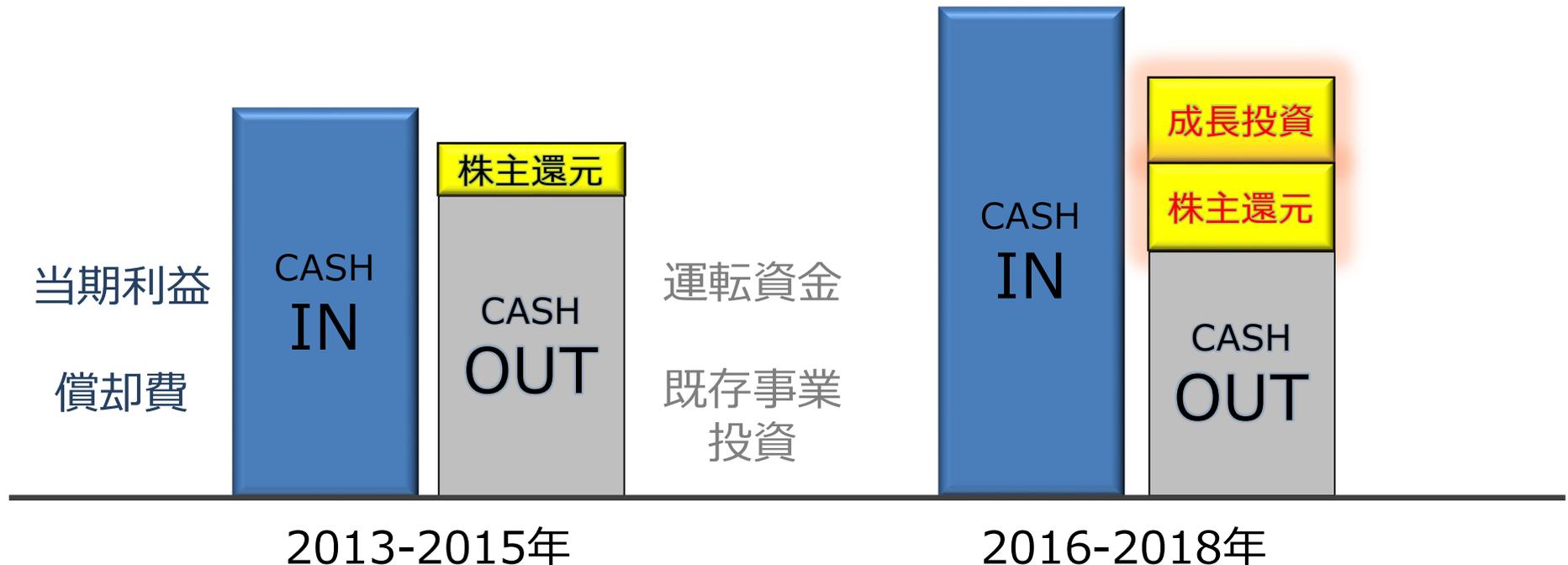


EPS	248.81	21.45	126.20	196.06	171.89	180.84	290.93	(円)
自己資本	5,302	3,079	3,840	4,597	4,908	5,342	6,228	(億円)

中期経営計画 2016-2018

新しい成長投資と株主還元強化

既存事業の稼ぐ力（限界利益・投資効率・事業効率）を高め、
安定的財務基盤により、新しい成長投資・株主還元をさらに増やす。



新しい成長戦略への経営資源投入

成長戦略費用 **1,300億円**

(設備投資 + 研究開発費)

① 広がるモビリティの世界

- L M W
- 電動化

② マリン 3兆円市場への挑戦

- システム・サプライヤー

③ ソリューションビジネス

- ロボティクス技術の応用・拡大

成長戦略：広がるモビリティの世界

YPJ-ER
(スポーツライド)



YPJ-XC
(マウンテン)



NIKEN



TRITOWN



MWC-4



TRICITY



TY-E

新たな道を切り開く
電動アシスト自転車

LMWテクノロジー：
二輪から三輪、三輪から四輪へ

電動化

成長戦略：システムサプライヤー戦略

エンジンからシステムサプライヤーへ



統合制御システムのイメージ

成長戦略：ロボティクス技術の応用・拡大



MOTOBOT
ヒト型自律ライディングロボット



MOTOROiD
人とマシンが共響するパーソナルモビリティ



産業用ドローン

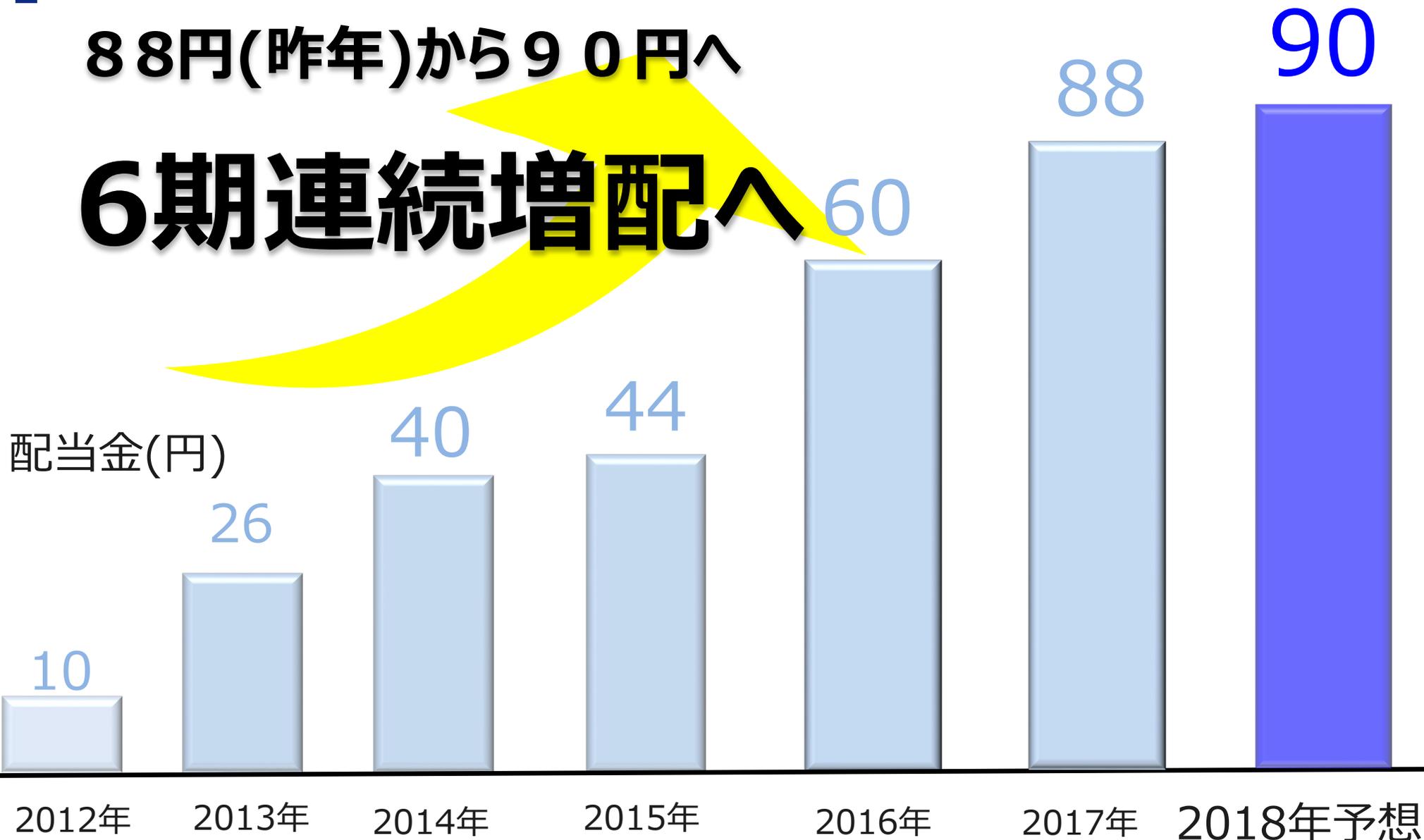


自動運転も可能な電動小型低速車両

88円(昨年)から90円へ

6期連続増配へ

配当金(円)



株主優待

【株主優待対象者様】

12月31日時点の株主名簿に記載、または記録された
1単元（100株）以上の株式を保有の株主様
（※当スライドの内容は、2017年12月31日時点のものです。）

【優待内容】

保有株式数・保有期間によりポイントを進呈し、
ポイント数に応じて、優待品の中から好きな商品をお選びいただけます。

○当社およびグループ会社所在地名産品

- （ご参考） 静岡県 ヤマハ発動機（株）本社他
- 北海道 ヤマハマリン北海道製造（株）：漁船・和船等の製造販売
- 宮城県 （株）菅生：スポーツランドSUGOの運営
- 熊本県 ヤマハ熊本プロダクツ（株）：船外機等の製造他
- 復興支援 東北・熊本県の商品を追加しています。

- Jリーグ・ラグビー観戦ペアチケット、当社関連施設利用割引券
- 社会貢献基金への寄付

【株主優待ポイント】

保有株数/期間	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000	2,000
500株以上1,000株未満	2,000	3,000
1,000株以上	3,000	4,000

【商品例】

1,000P



スポーツ観戦ペアチケット



三ケ日みかんサイダー

2,000P



手折り銘茶そば



生チーズ饅頭・一五九二

3,000P



浜松餃子



なつかし味紅鮭食べ比べ

4,000P



仙台「べこ政宗」
牛たん食べくらべセット



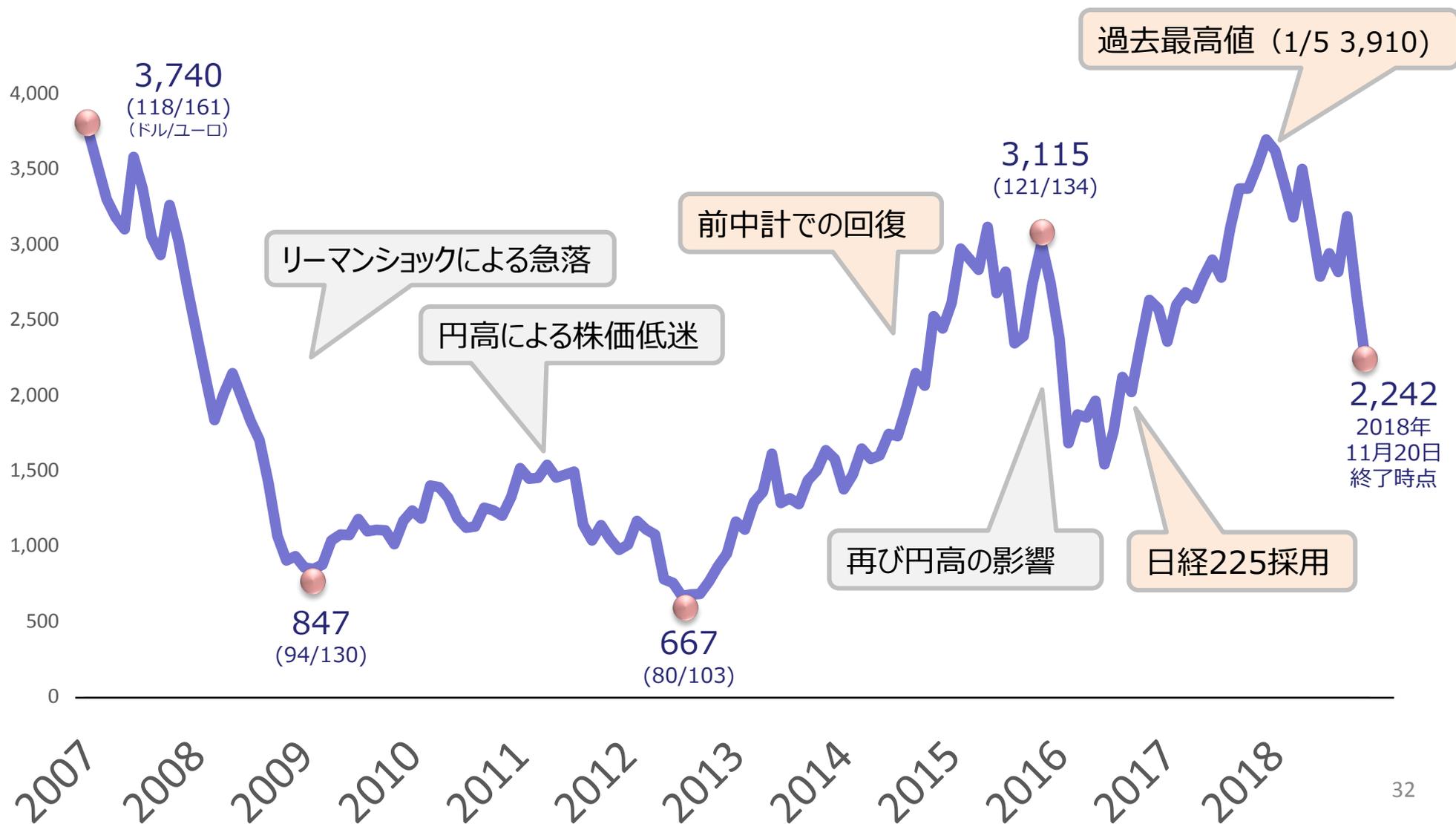
葛城ゴルフ倶楽部
カレー詰合せ

2,000P

当社ならではの体験型商品



株価の推移 2007-2018年



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

地球環境との調和・地域社会との共存共栄



Environment 環境

【モビリティ】

- ・低燃費エンジン、EV開発
- ・温室効果ガス排出量削減



【マリン】

- ・海洋資源保全
- ・生物多様性



Social 社会

【モビリティ】

- ・交通安全普及活動
- ・自動運転実証実験



【マリン】

- ・途上国漁業支援
- ・FRP船技術者育成



【人材育成】

- ・将来を担う人たちの育成
- ・スポーツ振興財団



国際イニシアティブとの連携

国連グローバル・コンパクト



社外からのESG（環境・社会・ガバナンス）評価

モーニングスター社会的責任投資株価指数

SNAMサステナビリティ・インデックス

健康経営優良法人～ホワイト500～



人びとの豊かな暮らしのために



まとめ

1. 幅広い商品をグローバルに展開
2. 既存事業の継続的成長と新領域の開拓に挑戦
3. 安定的な財務基盤を背景に、株主還元を充実
(配当・優待)



ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)